



1. ワークショップスケジュール

第1回 平成22年8月30日(月)
～みんなで新しい跡地公園を語ろう～

当日のスケジュール

- 公園整備におけるワークショップとは?
- 前提条件の整理
- 現況の確認
- 意見の抽出
- まとめ・発表

第2回 平成22年9月25日(土) 14:30～17:00
～新しい跡地公園内の配置を考えてみよう～

第3回 平成22年10月30日(土) 14:30～17:00
～新しい跡地公園のプランを考えよう～

第4回 平成22年12月(予定) 14:30～17:00
～新しい跡地公園のプランをまとめよう～

2. 公園整備の目的

- 安全に、安心して利用できる公園づくり
- ユニバーサルデザインの公園づくり
- 地域の利用実態に即した公園づくり

3. ワークショップとは

ワークショップとは、本来は「工房、共同作業場」を意味する言葉で、参加者が主体的に関わりながら、参加者みんなが作業を通して合意形成を行っていく場のことです。

4. 作業風景



意見を出す前に公園づくりについて技術的な条件などを確認しました。



みなさん意見を出し合い白熱した議論になりました。



最後に各班のリーダーが作業の成果を発表しました。

5. みなさんの思い

参加者の意見

基本方針の要望

- ・地域コミュニティの拠点に(例.老人会など)
- ・老若男女が集える公園に
- ・精神的に癒される公園に

便益施設の要望

- ・トイレや水飲み場の設置
- ・駐輪場や駐車場の必要性を考えるべき

休養施設の要望

- ・緑陰を設ける
- ・休憩所やベンチの設置

広場・遊戯施設・運動施設の要望

- ・走り回れる広い空間の確保
- ・遊戯施設の整備(例.アスレチックなど)
- ・球技スペースや施設の整備(例.サッカーゴールなど)
- ・ウォーキングなどが出来る遊歩道の整備

植栽の要望

- ・既存樹の活用(特に桜)
- ・植栽による季節演出(落葉樹・花壇など)
- ・木登りや虫取りが可能な樹種の植栽
- ・豊富な緑量

災害に関する要望

- ・雨水流出抑制のため、タンクなどを設ける
- ・地域の緊急避難場所・防災拠点にしたい

各グループの意見

1 グループ 年齢にかかわらず、自由楽しく使える公園

- ・自由に遊べる公園に
- ・乳幼児とお母さんが遊べる場
- ・イベントに利用可能な広場(子供会など)

タイプ1

4 グループ 健康と緑のパーク

- ・地面は砂利ではなく、プラスチックがいい
- ・川の背景を利用
- ・犬が遊べるエリアの整備
- ・ウォシュレット付トイレの整備
- ・売店や自動販売機の設置
- ・中村学園グラウンドの背景活用

タイプ1

2 グループ 人にやさしく、利用し易い、夢のある、緑あふれる公園

- ・藤棚の設置
- ・スペースを確保するために、遊具は少なく
- ・ガードレールを整備し、安全性を確保
- ・樋井川を取り込んだ親水空間
- ・犬連れの利用者に危惧する
- ・中村学園のグラウンドと繋げる

タイプ1

5 グループ 水と緑の皆が集まる憩いの公園

- ・砂場にフェンスを付けて欲しい
- ・多様な年齢層に対応した遊具(健康遊具)
- ・危険防止フェンスの設置
- ・死角をつくらない
- ・夜間照明の設置
- ・入りやすい入口

タイプ1

3 グループ みんなで楽しく遊べる広場

- ・幅の広いスロープの設置
- ・車の通りが多いので飛び出し防止の仕掛け
- ・若者のたまり場にならない仕掛け
- ・遊具の有無について意見が分かれた
- ・噴水の設置
- ・物置(倉庫)の設置

タイプ2

6 グループ 街に溶け込む公園

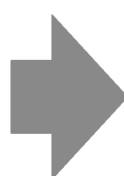
- ・花壇の設置
- ・中村学園の野球場側に防球ネットを設ける
- ・人工的なモノはグリーンの色で統一
- ・シンボルツリー植栽
- ・雨の日でも遊べる場所
- ・排水を樋井川へ流すこと

タイプ3

6. まとめ

今回のワークショップでは、大きく分けて、3つの配置案が提案されました。

- タイプ1 1・2・4・5グループ 広場と緑地の二つに分ける案
- タイプ2 3グループ 活動的な広場を大きくとる案
- タイプ3 6グループ 憩いの花と緑あふれる案



以上の方向性をふまえて
次回検討しましょう!

7. 次のお知らせ

第2回
新しい跡地公園内の配置を考えてみよう
日 時：平成22年9月25日(土)
受 付 14:00
開 始 14:30 ~ 終了 17:00
会 場：田島公民館ホール